

開催案内

科学技術人材育成コンソーシアム

第3回科学技術人材育成シンポジウム(1.21)

開催趣旨

今回の未曾有の大震災の被災を一つの契機として、我国の科学技術人材育成の課題を改めて見直しすことを目的に、阿部博之東北大学名誉教授による基調講演「岐路に立つ日本ーガラパゴス化からの決別に向けて」と「日本の未来を創る人材育成ー大震災を超えてー」と題するパネルディスカッションを行う。□

パネルディスカッションでは、国・経済界・大学等の各方面よりパネリストを招き、広い角度からの議論を行う。また、一般講演として、各方面での理科教育についての最新の実践事例を紹介する。

開催概要

日時： 平成24年1月21日(土) 13:00～17:00

会場： 日本学術会議講堂(東京港区六本木7-22-34)

地図：<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

主催： 日本工学会科学技術人材育成コンソーシアム

日本学術会議(土木工学・建築学委員会、機械工学委員会)

共催： 科学技術振興機構、河川環境管理財団、軽金属学会、電気学会、産業競争力懇談会、土木学会、日本工学アカデミー、日本機械学会、日本技術士会、日本技術者教育認定機構、日本建築学会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本非破壊検査協会、日本マリンエンジニアリング学会、日本塑性加工学会

後援： (申請中)文部科学省、経済産業省、国土交通省、日本経済団体連合会、朝日新聞社

参加料： 無料

定員： 150名(定員に達し次第締め切ります。)

プログラム 次頁のとおり。

参加申込方法 Eメールに下記を記載、日本工学会アドレス eng@jfes.or.jp に送信願います。

メール件名	「第3回科学技術人材育成シンポジウム申込」としてください。
記載事項	①お名前(複数可)、②所属組織(部課名あるいは学部学科名まで)、③所属学協会、④日本工学会から緊急連絡する場合の電話番号(お一人のみ)
なお、ファックス(送信先Fax: 03-5765-3219)での申込も差しつかえありません。	

お問合せ先 社団法人日本工学会事務局／電話:03-5765-8002、Fax:03-5765-3219

第3回科学技術人材育成シンポジウム(1.21)

プログラム

時間	総合司会 笠木 伸英(コンソーシアム副代表)、松井幹彦(コンソーシアム幹事)	
13:00~13:05	開会挨拶 池田 駿介(コンソーシアム代表)	
13:05~13:30	基調講演	岐路に立つ日本—ガラパゴス化からの決別に向けて 講師:東北大学名誉教授 阿部 博之
(13:30~15:10)	理科教育支援における新しい試み—事例紹介 講 師(敬称略)	
13:30~13:50	講演1. 理科・エネルギー教育の最近の動き	独立行政法人 科学技術振興機構(JST) 理数学習支援部長(兼 理科教育支援センター企画室長) 岩淵 晴行
13:50~14:10	講演2. 電気学会における初等中等教育支援	社団法人 電気学会「電気理科クラブ」 代表 谷口 元
14:10~14:30	講演3. STeLA(Science and Technology Leadership Association) の活動紹介	STeLA(科学技術分野の国際人材育成学生団体)学生代表 中根 拓
14:30~14:50	講演4. 大震災に関連した河川整備基金による子どもたちへの支援について	財団法人 河川環境管理財団研究第1部部長 藤兼 雅和
14:50~15:10	講演5. 子どもにやさしい町復興計画	こども環境学会 理事長 仙田 満
15:10~15:20	休憩	
15:20~16:50	パネルディスカッション:日本の未来を創る人材育成—大震災を超えて—	
	コーディネーター:有信 睦弘(東京大学監事、コンソーシアム顧問)	
	趣旨:	東日本大震災は科学技術の様々な課題を明示すると共に震災や原子力発電所の事故からの長期的な復興に向けて科学技術の重要性も益々高まっている。また、タイの水害はグローバル化した経済の実態を顕在化させた。一方、少子高齢化が進む日本では調和的成長と復興のためには不断のイノベーションが不可欠である。将来に向けて、イノベーションを牽引する人材の育成が焦眉の急であることが益々明らかになっている。様々な立場、観点から将来に向けた人材育成についての議論を元に、課題の共有と方向性を目指したい。
	パネリスト: (敬称略)	日産自動車株式会社 フェロー 久村 春芳 東京理科大学科学教育研究科教授 北原 和夫 経済産業省産業技術環境局大学連携推進課産学官連携推進研究官 能見 利彦 日本経済団体連合会産業技術本部主幹 防衛生産委員会事務局次長 吉村 隆
16:50~17:00	閉会挨拶 松瀬 貢規(コンソーシアム副代表)	